

現在、好生館では、研究のために当館で保管する検体・診療情報等を他の研究機関に対して提供しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。

<p>【研究課題名】 救急救命士による処置拡大の効果検証について</p>
<p>【共同研究の代表研究機関及び研究代表者】 佐賀大学医学部附属病院、先進集中治療学講座、品田公太</p>
<p>【利用・提供の対象となる方】 2016年4月1日～2021年3月31日までの間に、救急救命士により現場もしくは事後検証で気道確保器具挿入・静脈路確保・薬剤投与が必要と判断された方</p>
<p>【提供をしている検体・診療情報等の項目】 救急搬送記録より：年齢、性別、日時(入電、現着、接触、現発、病着、MC連絡、気道確保器具挿入、静脈路確保、薬剤投与、ブドウ糖投与)、救急隊接触時バイタル(意識レベル、血圧、心拍数、SpO2、呼吸数、体温)、ショック兆候(顔面蒼白、虚脱、冷汗、呼吸不全、脈拍触知不能)、血糖値、MCからの可否、MC医師名、初期波形、目撃の有無、bystanderの種別、bystander CPR・AED使用の有無、気道確保の方法、気道確保器具挿入・静脈路確保の成功・失敗、try回数、使用留置針(G)、確保部位、中止・未実施理由、所要時間、輸液速度、総輸液量、搬送先病院、tryした救命士の経験年数。病院医療記録より：身長、体重、病着までの投与量、病着時バイタル(意識レベル、血圧、心拍数、SpO2、呼吸数、体温)、ショック兆候(顔面蒼白、虚脱、冷汗、呼吸不全、脈拍触知不能)、血算(WBC,Hb,Plt)、生化(alb,T-bil,AST,ALT,Cr,BS,CRP)、凝固(PT-INR,APTT,Fib,FDP,d-ダイマー)、血液ガス(pH、pCO2、pO2、HCO3、Na、K、Lac)、診断名、ISS(外傷症例)、転帰、在院日数、合併症、飲酒歴、治療歴(治療内容、治療効果)、病着後の蘇生処置の有無、初回アドレナリン投与時刻、気管挿管時刻、病院前で挿入された気道確保器具の評価、挿管チューブへの入れ替え、転帰、在院日数、予後</p>
<p>【利用の目的】 病院前での救急救命士による早期医療介入の効果について、解明することを主目的としています。</p>
<p>【研究について】 遺伝子解析研究 (有・<input type="checkbox"/>無) 営利企業との共同 (有・<input type="checkbox"/>無)</p>
<p>【提供している研究機関及び研究責任者】 1. 佐賀大学医学部附属病院 先進集中治療学講座 品田公太</p>
<p>【利用期間】 委員会承認後～2026年3月31日までの間</p>
<p>【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】 研究責任者：救急科 岩村 高志 問い合わせ担当者：救急科 岩村 高志 対応可能時間：平日9時～16時 電話：0952-24-2171(代表) Eメール：rinsho@koseikan.jp(臨床試験推進部)</p>